



にちなん

第13号

# 議会だより



## 主な内容

- ◆第1回定例会を開催 ..... 2ページ
- ◆審議結果一覧 ..... 5ページ
- ◆市政を問う、一般質問 ..... 7ページ

## ■今号の表紙■

平成24年3月31日、日南市北郷町で開催された、北郷温泉さくらロードレース大会の様子です。あいにくの天候でしたが、小さな子どもから大人まで、完走を目指して走っていました。

### 《発行者》

宮崎県日南市議会 平成24年5月1日発行  
〒887-8585 日南市中央通一丁目1-1  
電話：0987-31-1142 (直通)  
FAX：0987-31-1778 (直通)

# 平成24年第1回定例会開催

## 平成24年度

# 一般会計予算などを可決

## 一般会計当初予算総額 260億4,000万円

平成24年第1回定例会は、平成24年2月27日から3月22日までの25日間開催されました。  
平成23年度一般会計補正予算や平成24年度一般会計予算など65件を審議いたしました。

### 補正予算の主な事業

■にちなみから東日本の子どもたちに元気を届ける事業

〔51万5千円〕

水産業を通じて本市と親交の深い宮城県気仙沼市および塩竈市の中学校卒業生全員並びに、本市の各小中学校と交流のある東北地方の小中学校の卒業生全員に、花言葉にちなんで、卒業生の新たな門出のやさしい思いでづくりのために本市の特産品であるスイートピーの花を届けるものです。



出発式の様子

### 平成24年度 一般会計予算の主な事業

■日南市広報番組放送事業

〔2877万円〕

日南市の観光情報や地域情報などを、放送媒体を使って定期的に放送し、市民や県内外に情報発信するものです。放送内容は、観光やイベント情報、防災やコミュニケーション情報、健康づくりや生涯学習講座情報など、市のあらゆる分野となっております。

■固定資産課税客体把握調査事業

〔697万3千円〕

公平で適正な課税に努めるため、現地調査による家屋の課税客体を把握し、未評価家屋等の解消を図るものです。

■地域力磨き上げ応援事業

〔600万円〕

果樹生産者の高齢化や後継者不足により耕作放棄地の増加が懸念されるなか、生産者の所得向上を目的として、食品から化粧品まで幅広く展開が可能なオリーブの産地化を図り、生産者が収穫から加工まで一貫して行う「6次産業化」の構築を目指すものです。

#### 【内容】

①オリーブ栽培研究事業

〔300万円〕

②加工品開発事業

〔300万円〕

■6次産業化等支援事業

〔275万円〕

農林水産物を活用し、生産から加工・製造、流通・販売までを生産者等が総合的に取り組む「6次産業」を支援し、地域経済の活性化を図るものです。

■鉄肥杉を生かして日南を豊かにする事業

〔710万円〕

鉄肥杉の利用促進、普及PR活動を通じて、鉄肥杉を含めた本市の魅力を広く国内外に発信し、各種産業や地域資源への相乗、波及効果を図るものです。

#### 【内容】

①鉄肥杉普及促進事業

〔500万円〕

②鉄肥杉イベント開催支援事業

〔100万円〕

③鉄肥杉の船を伝え生かす事業

〔24万円〕

④鉄肥杉製品製作業務

〔86万円〕



鉄肥杉PR活動の様子

■住宅リフォーム促進事業

〔5200万円〕

地元建設業をはじめ資材販売業などの中小企業支援策として、「住宅リフォーム促進事業」を実施し、市内経済の活性化を図るものです。

【補助対象】

市内の自己所有の居宅に居住し、市内の事業者が改修等を行う工事。

【補助率】

工事に要する経費が10万円以上で補助対象経費の10%（上限20万円）

■津波対策緊急整備事業

〔9820万4千円〕

沿岸部および河川沿いの住民に対し、津波警報等の災害情報を正確に伝達するため、防災行政無線の屋外拡声子局の増設を行うものです。また、津波発生時の高台への避難が、安全かつ円滑に行えるよう避難路の整備を行うものです。



避難路（津の峯）

■全国運河サミット実施事業

〔1250万円〕

全国の運河を生かしたまちづくりを展開している自治体等と交流、連携することにより、油津堀川運河の魅力と可能性を引き出し、交流人口の増加を図るものです。



堀川運河と夢見橋

■防災拠点施設整備事業

〔4914万6千円〕

地震をはじめとした災害発生時に、迅速かつ的確に対応するため、消防救急拠点施設や備蓄倉庫、避難地、ヘリポートなど災害対策活動の拠点としての機能を有する「防災拠点施設」を日南振徳商業高等学校跡地に整備するものです。



建設予定地の  
日南振徳商業高等学校跡地

■東郷小中一貫校整備事業

〔3500万円〕

平成25年度に小中一貫校として開校予定の東郷小中学校の職員室等の内装改修、渡り廊下等の整備を行うものです。



市立東郷小学校

可決された主な条例

■日南市選挙公報の発行に関する条例

例 日南市議会議員および日南市長の選挙において、有権者に候補者の政見等を広く紹介するとともに、候補者間の選挙運動の機会均等を図ることを目的に選挙公報を発行するための条例となっております。

【主な内容】

- ① 候補者が掲載文および写真を添えて申請（原文のまま選挙公報に掲載）
- ② 選挙公報の配布方法は、新聞折り込みや支所、出張所等の公共施設に備え置く。
- ③ 無投票となった場合は、発行しない。

■日南市農業委員会の選任による委員の議会推薦委員の定数に関する条例

条例の一部を改正する条例

議会推薦委員の定数について見直しを行うものです。

【改正内容】

議会推薦委員 現行4人↓改正後3人

■日南市特定公共賃貸住宅管理条例

の一部を改正する条例

経年劣化等による住宅の状況を勘案し、現状家賃との間に差額が生じているため、家賃額の見直しを行うことに伴い、減額制度および入居者負担額について廃止するものです。

【参考】

住宅名：かはとファイブ	
3LDK	62,000円→43,000円
4DK	62,000円→43,000円
住宅名：かはとセブン	
3LDK	62,000円→43,000円
4DK	62,000円→43,000円
2DK	44,000円→32,000円
※実際の家賃額は規則により決定されます。	

■日南市教育支援センター条例

不登校児童生徒の自立を促すとともに、学校生活への復帰を図ることを支援するため、日南市教育支援センターを設置するものです。

【主な内容】

名称 日南市教育支援センター  
位置 日南市吾田東十丁目5番地29

**【改正内容】** 平成24年度から平成26年度まで

対 象 者		改定前	改定後
第1段階	・生活保護受給者 ・世帯全員が市民税非課税で、かつ被保険者本人が老齢福祉年金受給者	22,470円	30,840円
第2段階	・世帯全員が市民税非課税の者で、かつ被保険者本人が前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の者	22,470円	30,840円
第3段階	・世帯全員が市民税非課税の者で、かつ被保険者本人が前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円超の者	33,705円	46,260円
第4段階	・被保険者本人が市民税非課税（世帯に課税者がいる）で、前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の者	37,300円	54,278円
	・被保険者本人が市民税非課税（世帯に課税者がいる）	44,940円	61,680円
第5段階	・被保険者本人が市民税課税で、合計所得金額190万円未満	56,175円	77,100円
第6段階	・被保険者本人が市民税課税で、合計所得金額190万円以上	67,410円	92,520円

※改定前の第5段階および第6段階対象者の合計所得金額は、200万円です。

■日南市介護保険条例の一部を改正する条例  
第5期（平成24年度から平成26年度まで）介護保険事業計画の策定に伴い、介護保険料について、所要の改正を行うものです。

**その他の議案**

■財産の減額譲渡について  
遊休市有財産の解消を図るとともに、景気対策として市有財産を減額譲渡するものです。

■人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて  
人権擁護委員に石崎芳光氏を推薦することについて同意しました。

■日南市教育委員会の委員の任命について  
平成24年5月18日で任期満了となる、梅田明人氏の後任として、迫元茂保氏を任命することに同意しました。

■日南市公平委員会の委員の選任について  
平成24年5月18日で任期満了となる、小玉十八子氏を引き続き委員として選任することに同意しました。

■日南市固定資産評価審査委員会の委員の選任について  
平成24年5月18日で任期満了となる、木下匡巨氏、落丸正博氏および荒木孝博氏を引き続き委員として選任することに同意しました。



**委員会審査から**

付言された主な意見・要望  
■議案第5号 平成23年度日南市病院事業会計補正予算（第2号）  
（厚生委員会）

今回の補正において、多額の繰入金が増上されていることに関し、中部病院内の医師が減少していることが大きな要因と考える。今後とも、なお一層の医師確保に全力を挙げてください。



市立中部病院

■議案第22号 日南市山村定住住宅の設置、管理及び譲渡に関する条例の一部を改正する条例  
（建設水道委員会）

山村定住住宅の設置目的にかんがみ、この住宅が長期間譲渡されないまま、既存の市営住宅と同じような住宅にならないように、できるだけ早く譲渡が行われるよう努力されたい。

■議案第23号 平成24年度日南市一般会計予算  
（予算審査特別委員会）

健康づくり推進員の事業について、積極的な推進により本事業の実効性を高められたい。

各種疾病予防事業について、医療費抑制の観点からさらなる受診率の向上に向け、積極的に推進されたい。

T P P 交渉参加は、本市の基幹産業に大きな打撃を与えると予想される。農政予算の柱である「日南市農業再生協議会」の設立を核に、自立可能な農業の確立に努められたい。

総合計画の目標人口5万8千人を達成するためにも、また、地域間競争に勝ち抜いていくためにも道路網などのインフラ整備は必要不可欠である。今後の整備促進についても、さらに強く推進されたい。

浄化槽市町村設置事業について、事業開始にあたり、新たな計画を立てたり計画の変更を行う場合は、市民に分かりやすく丁寧な説明されたい。すでに合併浄化槽を設置している市民に十分配慮し、計画されたい。

組織機構の改編に伴う課の統合や、業務の本庁移管等については、行政サービスの低下をまねかないよう、十分に配慮されたい。

■議案第27号 平成24年度日南市病院事業会計予算  
（厚生委員会）

病院経営の健全化および病院機能強化の観点からも、引き続き医師確保に全力を挙げてください。

# 審議結果一覧

※平成24年第1回定例会の審査結果を掲載しております。

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委 員 会	本 会 議
報告第1号	専決処分報告について	－	終了
報告第2号	専決処分報告について	－	終了
議案第1号	平成23年度日南市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	原案可決
議案第2号	平成23年度日南市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	原案可決
議案第3号	平成23年度日南市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第4号	平成23年度日南市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	原案可決
議案第5号	平成23年度日南市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第6号	平成23年度日南市簡易水道特別会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第7号	平成23年度日南市農業集落排水特別会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第8号	平成23年度日南市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第9号	平成23年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第10号	平成23年度日南市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第11号	日南市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第12号	財産の減額譲渡について	原案可決	原案可決
議案第13号	日南市税条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第14号	日南市選挙公報の発行に関する条例	原案可決	原案可決
議案第15号	日南市保健福祉総合センター条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第16号	財産の無償譲渡について	原案可決	原案可決
議案第17号	日南市耕地災害復旧事業賦課金徴収条例及び日南市土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第18号	日南市農業委員会の選任による委員の議会推薦委員の定数に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第19号	市道路線の廃止について	原案可決	原案可決
議案第20号	市道路線の認定について	原案可決	原案可決
議案第21号	日南市特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第22号	日南市山村定住住宅の設置、管理及び譲渡に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議員提出 議案第15号	小玉弘明議員に対する辞職勧告決議	原案可決	原案可決
議員提出 議案第16号	日南市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第23号	平成24年度日南市一般会計予算	原案可決	原案可決
議案第24号	平成24年度日南市国民健康保険特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第25号	平成24年度日南市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第26号	平成24年度日南市介護保険特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第27号	平成24年度日南市病院事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第28号	平成24年度日南市簡易水道特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第29号	平成24年度日南市農業集落排水特別会計予算	原案可決	原案可決

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委 員 会	本 会 議
議案第30号	平成24年度日南漁業集落排水特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第31号	平成24年度日南市公共下水道事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第32号	平成24年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第33号	平成24年度日南市水道事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第34号	日南市教育支援センター条例	原案可決	原案可決
議案第35号	日南市立公民館条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第36号	日南市図書館条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第37号	日南市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第38号	日南市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第39号	日南市高齢者等肉用繁殖雌牛導入事業基金条例を廃止する条例	原案可決	原案可決
議案第40号	日南市道路占有料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第41号	日南市における公有地の拡大の推進に関する法律に基づく届出の面積の下限を定める条例	原案可決	原案可決
議案第42号	日南市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第43号	日南市下水道事業等運営審議会条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	原案同意
議案第44号	日南市教育委員会の委員の任命について	—	原案同意
議案第45号	日南市公平委員会の委員の選任について	—	原案同意
議案第46号	日南市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	—	原案同意
議案第47号	日南市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	—	原案同意
議案第48号	日南市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	—	原案同意
陳情第4号	教育予算の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	継続審査	継続審査
陳情第9号	燃油高騰に伴う助成に関する陳情書	継続審査	継続審査
陳情第10号	消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める陳情	継続審査	継続審査
陳情第11号	無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3.3万円の支給を求める陳情	継続審査	継続審査
陳情第12号	年金受給資格期間の10年への短縮を求める陳情	継続審査	継続審査
陳情第13号	0.4%の年金引き下げをもとに戻すとともに、物価指数低下による年金引き下げを行わないことを求める陳情	継続審査	継続審査
陳情第14号	指定文化財に関する復元についての陳情書	継続審査	継続審査
陳情第15号	所得税法第56条の廃止を求める陳情書	継続審査	継続審査
陳情第18号	「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を求める意見書採択に関する陳情	採択	採択
陳情第19号	住民の安全・安心を支える公務・公共サービス体制・機能の充実を求める陳情書	継続審査	継続審査
陳情第20号	消防本部移転と防災センター計画に関する請願書	不採択	不採択
議員提出 議案第17号	「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を求める意見書	—	原案可決

# 市政を 問う!

# 一 般 質 問

平成24年第1回定例会における「市政に対する一般質問」は、3月8日から13日までの4日間行われ、16人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をただしました。

以下、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。

※質問や答弁について、要旨だけではなく詳細をお知りになりたい方は、日南市議会会議棟1階にある議会図書室にて「日南市議会会議録」を閲覧することができます。

また、日南市議会会議録は「日南市議会ホームページ」でも閲覧することができます。

詳しくは、日南市議会事務局（電話：0987-31-1142）までお尋ねください。

## 〈登壇者と質問項目〉

- ①川 越 昇 議員 [市長選挙への出馬について、人口問題について、防災対策について、市長と語るまちづくり座談会について、教育行政について]
- ②谷 口 慎 二 議員 [市長の政治姿勢について、コミュニティーバスの運行について、観光について]
- ③安 竹 博 議員 [県立日南農林高等学校跡地について、保護観察対象者等の就労支援について、公共施設の見直しについて]
- ④磯 江 純 一 議員 [公務員の給与制度改革について、防災計画の見直しについて、文化財の保護・利活用について、リフォーム制度の検証について、ビオトープについて、若者の育成について]
- ⑤甲 斐 登 議員 [少子化対策について、エネルギー政策について、地域の活性化対策について、武道必修教育について、市長の政治姿勢を問う]
- ⑥井 上 進 議員 [交通網・交流体制の整備について、農林水産業・商工業および観光の振興について、住環境の整備について、福祉の整備充実について、施設の整備について]
- ⑦坂 元 啓 一 議員 [市長の政治姿勢について、日南市自治会について、火山噴火の防災対策について、学校教育について、キンカンの新品种開発について]
- ⑧岩 永 憲 明 議員 [観光行政について、伝統芸能について、オリーブ・チョウザメの見通しについて、市立図書館の充実について、医療行政について、空き家条例について、男女共同参画社会づくりについて、コミュニティーバスについて]
- ⑨川 口 和 也 議員 [県南の医療課題について、介護保険制度改正の対応について、社会福祉協議会への支援について、高校授業料無償化・就学支援金支給制度について、保健・医療の充実について、がん対策について、学校林等基金条例について、フッ化物洗口について]
- ⑩黒 部 俊 泰 議員 [防災について、将来負担比率について、資産老朽化比率について、宮崎県総合計画と日南市総合計画との整合性について、宮崎県総合計画と市政創造計画との整合性について]
- ⑪井 福 秀 子 議員 [安心できる介護保険制度について、パーソナルサポートサービス事業について、武道必修化について]
- ⑫和 足 恭 輔 議員 [市長の政治姿勢について、空き家対策について、サテライトの開設の動きについて]
- ⑬深 川 保 典 議員 [串間市との合併へ向けた法定合併協議会の設置について、観光戦略について、消防本部移転並びに防災公園の見直しについて]
- ⑭田 中 重 信 議員 [行財政改革について、地域活性化対策について、病院事業について、生活環境対策について]
- ⑮細 田 勝 議員 [行財政改革について、クリーンエネルギー導入について、油津港整備計画について、地域医療について、全国運河サミットについて、古事記編さん1300年について、高齢者福祉について、観光協会について]
- ⑯濱 中 武 紀 議員 [市長の政治姿勢について、インフラ整備について、入札及び指名制度について、農林漁業対策について、旧振徳商業高校施設について]



新生日南会  
川越 昇 議員

**来年4月の市長選挙への出馬について**

(問) 出馬の意向はどうか。

(答) 現段階では、発言は控える。

**人口問題について**

(問) 平成31年度の目標人口5万8千人に対する市長の考えはどうか。

(答) 東九州自動車道の開通によるベトナムタウン化を柱に増加を見込んでいたので、開通が遅れることにより見直しの必要がでてきたと考える。

**防災対策について**

(問) 緊急地震速報の学校の配備計画に対する教育長の考えはどうか。

(答) 国の動向を注視し、本市の進める防災対策の一環として取り組みたいと考える。

(問) 自主防災組織の組織率は何%か。

(答) 現在83・8%である。

**市長と語るまちづくり座談会について**

(問) 参加者数と参加率はどうか。

(答) 412人で、0・7%だった。

**教育行政について**

(問) 小中一貫教育の検証を行って、メリット・デメリットは何か。

(答) 施設一体型のメリットは、小中学校の教諭が相互に協力した指導により学習指導の充実が図られ、学力向上へつながる。デメリットは、小学生にリードされる場面が多くなり、小学校高学年がリードする場面が少なくなる。

**市長の政治姿勢について**

(問) 平成24年度当初予算について、今回、市長の想いを反映している点はどこか。

(答) 主に、防災拠点施設、防災無線、避難路整備、住宅リフォーム事業、太陽光発電システム設置補助、6次産業化支援、全国運河サミット、各種イベント、東郷小中一貫校の整備、特別支援教育の推進等を重点としている。

**コミュニティバスの運行について**

(問) 病院に行くにも、買い物をするにも、便数が少なく困っている人のため、バスの台数を増やすことや、増便はできないか。

(答) 現在、日南地区2台、北郷地区2台、南郷地区は1台で運行を行っているが、公共交通機関として台数や便数について、前向きに再検討する。

**観光について**

(問) 観光客数や宿泊者の推移と、その分析はどうか。

(答) 昨年6月以降は増えている現状であり、またアンケートを市内4カ所で実施しているが、結果については今後分析し報告する。今後マリンスポーツ体験型観光についても、市観光協会をはじめ、県観光コンベンション協会、県南観光ネットワーク推進協議会などと連携を深め、拡充を図っていく。



新生日南会  
谷口 慎一 議員



新生日南会  
安竹 博 議員

**県立日南農林高等学校跡地について**

(問) 現況はどうか。

(答) 管理所管である県教育委員会の方針は、公売を行うとの事で、現在、鑑定評価の作業を進めている。

(問) 有効活用等の検討、要望活動はなされているのか。

(答) 知事に対して、産業振興の拠点として活用するよう、要望書を提出し、産業団地を前提として、誘致に努めている。

**保護観察対象者等の就労支援について**

(問) 本市の取り組みはあるのか。

(答) 市として、取り組みは行っていない、今後の支援策も考えていない。

(問) 他市の取り組みなどを把握しているのか。

(答) 大阪府内の5つの市が、保護司会との間で臨時職員として任用する「就労支援に関する協定書」を結んでいる。都城市では、指名業者の格付け項目で加算する取り組みをしている。

(問) 協力雇用主支援についてどうか。

(答) 本市では8業者が登録している。

**公共施設の見直しについて**

(問) 早急に修理が必要な施設はどれくらいあるのか。

(答) 安全性の確保を最優先に、早急に修理が必要な施設の数については、保全計画の中で整理していきたい。

**公務員の給与制度について**

(問) 国家公務員の給与制度改革で7・8%が法整備された。国は、地方に任せるというところだが、地方公務員の給与はどうか。

(答) 本市としては、法律の内容を十分に精査し、地域経済に与える影響等を含め、県や県内各市の状況等を注視しながら、適切に対応したい。

**文化財の保護・利活用について**

(問) 油津・杉村金物本店の歴史的価値は認めておられるが、このまま対策もせず放置され続けるつもりなのか。

(答) 平成10年に文化庁の登録有形文化財に登録されており、価値ある文化財建造物であると認識している。しかし、民間の所有物件であり、強い規制を伴わない趣旨からも、市が直接に価値を生かす方策を講じることは困難である。

**リフォーム制度の検証について**

(問) 今回で3度目、過去をどのように認識し、見直しているのか。

(答) 過去の実績を見ると、実施から助成金が終了まで約3カ月間しかなく営業力の弱い事業者には十分に効果が波及しなかったと推測している。このようなことから24年度は、助成率を20%から10%、事業者を20万円から10万円に引き下げ、受注機会の拡大を図る。



緑青会  
磯江 純一 議員



緑青会  
甲斐 登 議員

### 少子化対策について

(問) 少子化防止のため、市独自でどんな支援事業をやっているか。

(答) 誕生祝い金、子育てネットワーク、一時預かり等の事業をやっている。

### エネルギー政策について

(問) 風力、水力、火力等の発電に取り組む考えはないか。

(答) 風力、水力発電は、現在調査中、木材を利活用した燃料バイオコークスの研究に南那珂森林組合と一体となつて取り組んでいく。

### 地域活性化について

(問) 若者をターゲットにモクモクファーム(第6次産業)を推進し県内外から呼び込む考えはないか。

(答) 第6次産業推進のため、生産から加工・製造・流通・販売までを支援し、地域の活性化を図る。

### 市長の政治姿勢について

(問) 合併して3年、問題はなかったか。

(答) 市政創造計画を策定し、新日南市として基礎づくりに努めた。

### 今後の政策の目玉はなにか。

(答) 今後については、教育環境の充実、子育てしやすい環境づくり、第一次産業の振興などにより、人口の増加と市の活性化を図る。

### 住環境の整備について

(問) 酒谷川の河床整備と堤防の整備を早急に図れ。

(答) 星倉橋から山瀬橋の左岸側は築堤や河床掘削が予定され既に測量・設計及び用地調査は終えている。着工は未定であるので、強く要望する。

(問) 下水道の未認可区域への今後の対応策はどうするのか。

(答) 未認可区域は飼肥・星倉・西弁分・平野であり計画の見直しと区域外は公設合併処理浄化槽事業を導入する。

### 福祉の整備充実について

(問) 県のドクターヘリが検討されているが当市はどう対応しているのか。

(答) 運行準備委員会に参加した消防本部の29名が研修を終えた。

### 施設の整備について

(問) 自治体での婚活支援を実施せよ。

(答) 若者の働く場の確保に努力する。

### 施設の整備について

(問) 北郷中の温水プールの使用は何時から使用可能か。

(答) 6月の市議会に提案し、9月から一般市民に開放を予定している。

### 図書館や学校間のネットワーク

(問) 各小中学校の図書室にパソコンの配備は考えられないか。

(答) 図書館や学校間のネットワークに対応したシステム導入の検討を行う。

### 市庁舎建設の計画はないのか。

(答) 耐震化、新築を視野に検討する。



日南ルネサンス  
坂元 啓一 議員

### 中部病院の経営再建策について

(問) 回復期リハビリテーション病棟の医師が、退職された理由は何か。

(答) 本人の体調不良と、宮崎市からの自家用車での通勤が大変だったため。

(問) 回復期リハビリ病棟がなくなった後の現状はどうなっているのか。

(答) 病棟としての位置づけはできなくなったが、回復期リハビリが無くなったわけではなく、現在でも該当患者の受け入れは継続している。

### 経営再建の柱であったこの病棟

(問) 経営再建の柱であったこの病棟をもう一度復活させるのか。

(答) いつでも病棟として復活できるように機能は残しているので、病棟の再開のためにも、今後もなお一層医師確保に努めていきたい。

### 学校教育について

(問) 学校評議員制度は、一般市民にはなじみが薄い制度と思われる。本市では、この制度をどのくらい採用し、会議の頻度および報酬はどうなっているのか。

(答) 全小・中学校で採用し、実施されている。会議は、学校によって違いますが、年2、3回程度で報酬はない。

### 市教育委員会に対して、小・中学校における「留年」問題を検討要請

(問) 市教育委員会に委ねてある。

(答) 教育委員会に委ねてある。

### 観光行政について

(問) 古事記編さん1300年にあたり、本市が取り組む事業内容は何か。

(答) 市内の小中学校等を対象とした古事記ゆかりの地を巡る観光地学習ツアーの実施や観光客への記念品贈呈の事業に取り組む。

### オリーブ・チョウザメについて

(問) オリーブの見通しはどうか。

(答) 新たに数品種を導入し、加工方法などについて調査研究し本市に適した品種を決め栽培方法の確立をはかり産地化にむけて努力する。

### チョウザメの見通しはどうか。

(問) 本市では現在3人の方が養殖されており、技術的には他市町村より恵まれているので県と連携し支援する。

### 医療行政について

(問) ヘリポートの確保などドクターヘリ導入の準備は万全か。

(答) 学校の運動場、運動公園、ハートフル等の8カ所のほか、33カ所を候補地として県と協議を進めている。

### 空き家条例について

(問) 制定するのか。

(答) 庁内で調整し自治会等と十分協議し、内容や制定時期を決定したい。

### コミュニティバスについて

(問) バスの増便はできないか。

(答) 可能な限り、充実していく。



社民クラブ  
岩永 憲明 議員



社民クラブ  
川口 和也 議員

### 不妊治療費の助成拡大について

(問) 補助対象は、特定不妊治療の「体外受精と顕微鏡受精」に限られ、その他の不妊治療は補助対象外、負担軽減のため助成の拡大はできないか。

(答) 県は、夫婦1組に年度あたり、治療1回につき上限額15万円まで、初年度は3回、次年度以降は2回までの助成を行っている。しかし、治療の回数等によって、相当額の自己負担が生じるので市単独の助成は、県の実績や他市町村の状況等を検証し、研究していく。

### 特定疾患外患者の負担軽減について

(問) 原因不明で治療法が確立されず、国が原因究明や治療法研究を行う「難治性疾患克服研究事業」は、現在130疾患が対象であり、このうち特に治療が困難で医療費が高額な56疾患は、「特定疾患」とされ、医療費の公費負担があるが、特定疾患外の74疾患は、公費負担がなく、高額療養費制度などを利用するしかない。特定疾患外の方へ負担軽減策を検討出来ないか。

(答) 残りの74疾患も、国が更なる原因究明や治療法研究の取り組みがなされているようであるので、本市としては、当面、これらの状況を注視していく。

### 防災について

(問) 東郷地域の市長と語る座談会で、現在進められている風田浜の護岸工事は、高潮・津波対策への配慮を行い、防潮堤を整備するよう要望が出された。今後の取り組みについてはどうか。

(答) 先日、日南土木事務所に対し、防潮堤の早急な整備と保全を行っていただくよう要望書を提出した。その際「平成24年度は、実施計画に取り組み、工法の検討を行い、併せて地元説明会も予定している」と伺っている。また風田浜から近い、くろしお支援学校については、避難方法や避難に要する時間等について非常に心配しており、市教育委員会も先日の要望活動に教育次長が同行し、現状などを説明したうえで早期整備をお願いした。

### 宮崎県総合計画と市創造計画の整合性について

(問) 県の人口推計通りに市の人口が減少した場合一般職員数は、605人から476人への削減では足りず、416人までの削減目標が必要だと答弁された。将来負担比率から見た財政健全化比率は、県内ワースト1位だ。早急な見直しが必要ではないのか。

(答) 平成31年に市の人口が約5万2千人まで減少すると市の人口推計を参考にして、職員数の削減を検討する。



公明党日南市議員  
黒部 俊泰 議員



日本共産党日南市議員  
井福 秀子 議員

### 安心できる介護保険制度について

(問) 4月から年金は下げられ、後期高齢者保険料も大幅に上がる。その上、介護保険料も月額で4割近く大幅アップし5千円以上にもなり、年金から保険料が差し引かれる高齢者にとっては死活問題である。市は保険料抑制のため、もつと努力をすべきである。財政安定化基金には、国・県の積立分が残っている。県積立金の取崩による市への貸付を要望し、また、一般会計から繰入れて保険料を抑えている自治体も数多くある。このようにして保険料を抑える考えはないか。

(答) 県の積立金は今後、市町村の借入時に取崩すとのこと、県には要望しない。国は一般会計からの繰入れは不適切としており、一般財源は市民の貴重な財源なので繰入れはしない。

### パーソナルサポート事業について

(問) 滋賀県野洲市は、行政の総合力を活用し、市民の生活困窮状態を解消し生活再建を支援している。本市も本格的に取り組む考えはないか。

(答) 野洲市などの先進事例の取り組みを調査、研究していく。

### 中学校の武道必修化について

(問) 柔道の安全性が問われている。安全対策はどの程度進んでいるか。

(答) 体育教員は全員、講習を受けた。

### 社会保障と税の一体改革について

(問) 消費税増税は被災地復興と国・地方経済に大打撃を与え、まちづくりの大きな障害となると思うがどうか。

(答) 税率は別として、少子高齢化の急速な進展の中では社会保障のための消費税増税は避けて通れないと考える。

### 子ども子育て新システムについて

(問) 政府の目指す新システムでは保育の公的責任が解体され企業の保育参加が進んでいく。福祉としての保育がゆがめられ、保育が産業化されるのではないか。市の保育はどうなるのか。

(答) 市町村は保護者の就労時間に応じた保育の必要性の認定と補助金支給のみを行い、保護者は自身で保育所を探し、保育所と直接契約を結ぶことになる。制度の行方を注視していきたい。

### 競輪場外車券売り場開設について

(問) これ以上のキャンセル施設は不要である。施設周辺の住環境や青少年への影響等をどう考えているか。

(答) 計画の詳細は聞いていない。地元自治会、PTA、警察署等との事前協議を経て、問題がなければ開設されるものと考えている。

### 民間施設とはいえず、情報を把握し市民の立場で対応すべきではないか。

(答) 今後は開設の影響など関心をもつて対応していく。



日本共産党日南市議員  
和足 恭輔 議員



日南ルネサンス  
深川 保典 議員

**串間市との合併へ向けた法定合併協議会設置について**

(問) 少子高齢化の進行や地域主権の進展など、現在の様々な課題を解決するためにも、串間市との法定合併協議会を設置する考えはないか。

(答) 串間市は単独市制の継続を表明しており、三市町による新日南市の市政運営に専念すべきと考える。

(問) 現在の国定公園を「日南海岸・北郷・綾国立公園」として昇格させる運動を起こせないか。

(答) 国定公園の昇格については、クリアすべき多くの課題を抱えていると判断している。

**消防本部移転並びに防災公園の見直しについて**

(問) 中央防災会議の結論を踏まえて県の危機管理課で夏以降に日向灘沖地震についての詳細な被害シミュレーションが出る。この最も信頼のおける結果をもとに見直すべきだがどうか。

(答) 消防本部の移転先である、旧振徳商業高校跡地は、沿岸から約4キロの距離があり、海拔も13・2メートルある。また、宮大の研究グループの津波予想でも、消防本部建設予定地まで津波が遡上するという結果は出ていないので、計画の見直しは考えていない。

**給与制度改革について**

(問) 昇格の基準はあるのか。

(答) 人事課と上級職との協議による。数値基準はない。

(問) 中間管理職の3、4級に7割以上が集中するのは異常ではないか。

(答) 合併調整や、新規採用抑制の影響である。

(問) 民間に比べ、昇格ペースが速いのはなぜか。

(答) 民間とは昇格の格付けが異なる。滞納対策について

(問) 滞納額の抑制に努めているか。

(答) 総額については減少している。

(問) 給食費滞納削減の新たな取り組みが必要ではないか。

(答) 高額滞納者督促の基準を見直す。

(問) 教育費保護者負担金はどうか。

(答) 今後、調査し対応を検討する。

(問) 今後、調査し対応を検討する。

(問) 東電の風評被害補償による本市生産者価格への影響はないか。

(答) 現時点では、確認できない。今後注意深く調査し、対応について国県と連携体制をとる。

(問) まちづくり(株)増資について

(答) 事業目標年度における、市の出資金総額はどうか。

(問) 事業目標年度における、市の出資金総額はどうか。



改政クラブ  
細田 勝 議員

**行財政改革について**

(問) 行財政問題対策について、外部評価を取り入れられるようだが、具体的にどうされるのか。

(答) 外部評価の組織体制は、学識経験者、民間企業の代表者、公募による市民で構成する計8名の体制で、10件の事業について評価していただく。

(問) 太陽光発電の公共施設への導入

(答) 太陽光発電の公共施設への導入は、今度どのようにされるのか。

(問) 可能な限り進めていきたい。

(答) 災害時の避難所への導入を断れないか。

(問) 太陽光発電と蓄電池を備えた施設整備は、将来に向けた研究課題と考えている。

(問) 耐震岸壁の事業着工は、いつごろになるのか。

(答) 早期着手に向けて、国に対する予算獲得の活動を行う。

(問) 油津漁港環境整備事業は、今後どうなるのか。

(答) 県によると、本年度分の完了後は、早期完成に向けて事業を進めるとのこと。

(問) 全国運河サミットについて

(答) 早急に実行委員会を協議する。

**インフラ整備について**

(問) 国道220号伊比井地区の事業開始の見込みはいつなのか。

(答) 日南防災事業とは異なり、交通安全事業として行われる予定で、早期着工が図られるよう国と連携する。

(問) 市道富士小目井線旧サボテン公園道路下の法面の侵食対策はどうか。

(答) 道路本体への影響も懸念されるため、侵食状況を注視し、現状把握に努めていく。

(問) 鶴戸地区内の小規模水道の簡易水道化は考えていないか。

(答) 平成25年度より、本格的な工事に取りかかり、東郷配水池より順次敷設していく予定である。

(問) 業種ごとの格付けについては、日南・北郷・南郷間では同一なのか。

(答) 土木・建築・管・電気・水道施設の5種類の格付けについては、新市になって同一判断基準により、実施している。

(問) 業種ごとの格付けについては、日南・北郷・南郷間では同一なのか。

(答) 土木・建築・管・電気・水道施設の5種類の格付けについては、新市になって同一判断基準により、実施している。

(問) 業種ごとの格付けについては、日南・北郷・南郷間では同一なのか。

(答) 畜産業者の口蹄疫発生地区以外の補助事業が少ないが、その対応策はどうなっているのか。

(問) 畜産業者の口蹄疫発生地区以外の補助事業が少ないが、その対応策はどうなっているのか。

(答) 今定例会に優良子牛及び優良母牛保留対策奨励交付事業の拡充を提案している。



改政クラブ  
濱中 武紀 議員

# 議会日誌

(1月から3月・抜粋)

- 1月4日 仕事始め
- 16日 地域振興対策調査特別委員会
- 17日 総務文教委員会所管事務調査
- 18日 京都府宮津市議会が行政視察のため来訪
- 20日 議会だより編集委員会
- 25日 大分県佐伯市議会が行政視察のため来訪
- 26日 議会改革調査特別委員会行政視察(春日市、小郡市、八女市 27日まで)
- 29日 市民と議員で市政を語ろう会
- 2月2日 神奈川県茅ヶ崎市議会が行政視察のため来訪
- 7日 大阪府貝塚市議会が行政視察のため来訪
- 15日 地域振興対策調査特別委員会
- 22日 大阪府池田市議会が行政視察のため来訪
- 24日 議会改革調査特別委員会
- 27日 平成24年第1回定例会開会
- 28日 委員会審査
- 29日 本会議(現年度分採決、新年度分提案)  
地域振興対策調査特別委員会
- 3月1日 本会議(新年度分質疑および委員会付託)
- 8日 本会議(一般質問)
- 9日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)
- 13日 本会議(一般質問)
- 14日 委員会審査
- 15日 委員会審査
- 19日 委員会審査
- 22日 本会議(新年度分採決) 閉会  
地域振興対策調査特別委員会



本会議は、簡単な手続きで誰でも傍聴することができます。

ぜひ、生の議会を見に来てください。

インターネットで議会の一般質問などのようすを見ることができます。

日南市議会

検索



## ■第3回(6月)定例会の予定■

- 6月11日 開会、本会議
- 12日 本会議(質疑)
- 20日 本会議(一般質問)
- 21日 本会議(一般質問)
- 22日 本会議(一般質問)
- 25日 本会議(一般質問)
- 26日 委員会審査
- 27日 委員会審査
- 28日 委員会審査
- 7月2日 閉会

※日程はあくまで予定であり、議事の都合により変更になることがあります。



編集作業のようす

〔編集後記〕  
平成24年度当初予算が賛成多数で可決され、新年度がスタートしました。  
特に、防災対策や地域活性化につながることを願い、日南市発展のため努力してまいります。  
また、本年度が災害のない年であることを祈りつつ、東日本大震災で被災した地域の一刻も早い復興を願っております。  
今後も、市民の皆様にご覧いただける議会だより作成に取り組んでまいります。  
議会だより編集委員会